

平成30年度

事業報告書

平成30年 4月 1日から
平成31年 3月31日まで

公益財団法人米沢上杉文化振興財団

目 次

(平成30年度事業報告書)

1. 必要な図書、記録、資料の収集、保管、調査研究、公開展示及び利用に関する事業・・・ 1ページ
 - (1) 上杉家・米沢藩ゆかりの資料及び郷土作家作品の収集と調査研究を体系的に進める
 - (2) 地域の人々が郷土に誇りと愛着をもち、観光客に感動を呼ぶ魅力的な展示をめざす
 - (3) 市民に必要なかつ有用な図書・記録等の収集に努め、広く利用に供し、相談に応じる
 - (4) 文化財等の適正な保存・管理に努め、収蔵文化財総合データベースの充実を図る

2. 教育・学術・文化施設との連携及び教育普及に関する事業・・・ 9ページ
 - (1) 家庭教育の向上や学校の学習活動の支援に力を注ぎ、子どもの読書活動を推進する
 - (2) 日常的な地域学習の場となる多様なプログラムを用意し、学社連携を推進する
 - (3) 生涯学習施設、また地域の交流拠点として、市民の学習と活動の機会を提供する
 - (4) 市民の経験や知識及びボランティアと協働し、各施設のサービスの充実に努める

3. 芸術・文化活動の創造、支援及び鑑賞機会の提供に関する事業・・・ 15ページ
 - (1) 優れた作品や舞台芸術に親しむ機会を提供し、芸術・文化活動の創造気運を高める
 - (2) 充実した展示機能で新たな芸術活動にも対応し、市民の活動成果を広く公開する
 - (3) 活動を楽しみ交流する場を提供し、次世代を担う子どもや若手芸術家を育成する
 - (4) 能舞台を活用して伝統芸能の継承・普及につながるプログラムを展開する

4. 歴史・芸術・文化活動拠点の運営に関する事業・・・ 20ページ
 - (1) 上杉家・米沢藩及び郷土作家研究の拠点として、広く開かれた施設をめざす
 - (2) 市民の伝統文化活動を支援するとともに、歴史・芸術・文化の情報発信に努める
 - (3) 利用者の声を集め反映する仕組みを整え、市民に開かれた運営をめざす
 - (4) まちづくりネットワークと連携し、にぎわいと活力あるまちづくりに寄与する

5. 財団の適正な運営に関する事業・・・ 22ページ
 - (1) 公共施設であることを念頭に、経営基盤の安定と利用者及び収入の確保に努める
 - (2) 施設個々の機能の向上と発揮に努めるとともに、施設相互の適切な連携を進める
 - (3) 米沢・上杉の歴史と文化を発信し、文化および観光の交流拠点をめざす
 - (4) 入場者と職員の安心・安全を第一に、施設設備の保守及び危機管理に取り組む
 - (5) 複数の内部評価・外部評価に取り組み、運営やサービスの改善に努める

事業報告

1 必要な図書・記録・資料の収集、保管、調査研究、公開展示及び利用に関する事業

(1) 上杉家・米沢藩ゆかりの資料及び郷土作家作品の収集と調査研究を体系的に進める

①資料の収集・調査

米沢市上杉博物館資料収集基本方針及び市立米沢図書館資料収集方針に基づき、収蔵資料の充実をはかるために図書・資料・作品の収集活動を行った。また、収集した資料の調査研究を計画的に進めた。

ア 米沢市上杉博物館

(ア) 歴史関連資料

寄託資料の概要調査、収集資料の目録作成と、上杉氏および米沢藩ゆかりの資料をはじめとした郷土ゆかりの資料の追跡・発掘調査、資料収集に伴う調査を行った。

(イ) 美術関連資料

本年度以降に開催を計画している展覧会の出展予定資料及び郷土出身作家に関する継続的な調査、資料収集に伴う調査を行った。

新規受入資料数	35件 (約2,100点)
資料収集検討会議	平成30年 7月12日(木)、11月 1日(木) 平成31年 2月 6日(水)

イ 市立米沢図書館

(ア) 郷土資料

郷土ゆかりの資料(図書、雑誌、古典籍、古文書等)を調査収集し、市民からのレファレンスに幅広く対応した。また本年度は東部・松川地区の神社、堂宮の郷土資料調査を行い、消失の進む資料、伝承、民俗の記録を残すため報告書を作成した。

新規受入資料数	書籍・雑誌等	888点
	古文書・写真等	3件 78点

②次年度展覧会準備

平成31年度以降の展覧会に備え、下記の準備を行った。

- ・葵の姫のものがたり展開催のための打ち合わせ、資料調査
- ・生誕100年 福王寺法林展のための打ち合わせ
- ・上杉家 武家の文化 公家の文化展開催のための打ち合わせ
- ・狩野派展開催のための打ち合わせ、調査
- ・上杉家・米沢藩能楽関連調査
- ・上杉家と徳川将軍家および関連大名の調査
- ・上杉家と関連公家の調査
- ・土田文雄展にむけた調査
- ・今泉篤男展にむけた調査

(2) 地域の人々が郷土に誇りと愛着をもち、観光客に感動を呼ぶ魅力的な展示をめざす

①米沢市上杉博物館

ア 企画展示事業年間

年間入場者数 : 51,001名

米沢市上杉博物館企画展示室において年間6本の企画展を開催した。

企 画 展 示	概 要
i) 特別展「直江兼続 兼続と新時代を切り開いた人たち」	
<p>■会期(35日間) 平成30年 4月21日(土) ～ 5月27日(日)</p> <p>■入場者数 12,070名</p>	<p>直江兼続の400回忌に当り、兼続とかかわった人物に着目して、改めてその業績を紹介した。中央政権との関わりでは石田三成を中心とした豊臣政権の構成者、豊臣政権の天下統一のために服属を働きかけた伊達政宗、上杉家と江戸幕府との安定的関係の構築に重要な役割を担った本多正信・政重父子らとの関係を浮き彫りにした。また、兼続の活動を支えた上杉氏家臣らとの関係も紹介した。</p>
ii) 企画展「 ^{ごとうかつよし} 後藤克芳の世界 —アートがアートでなくなる瞬間! ?—」	
<p>■会期(48日間) 平成30年 6月 2日(土) ～ 7月22日(日)</p> <p>■入場者数 5,535名</p>	<p>米沢出身のポップアート作家 後藤克芳の、ニューヨークにおける36年間の作品を一堂に展示。「木」を用いて日常の中にある驚きや、感動を形にしようと生まれたスーパーリアリズムの中にある後藤スタイルを再発見し、常に柔軟な心と眼を持ちつづけた後藤の芸術の根幹を紹介した。また、本展覧会が令和2年8月～9月に渋谷区立松濤美術館へ巡回することが決定した。</p> <p>後援：株式会社山形新聞社、山形放送株式会社 助成：公益財団法人三菱UFJ信託地域文化財団</p>
iii) 企画展「岩合光昭どうぶつ写真展 地球の宝石」	
<p>■会期(43日間) 平成30年 7月28日(土) ～ 9月 9日(日)</p> <p>■入場者数 9,168名</p> <p>■企画制作 M&M c o l o r</p> <p>■協力 岩合写真事務所</p>	<p>世界的動物写真家である岩合光昭(1950～)の写真作品と、いのちと自然讃歌、動物たちの声なき声を伝える世界的ベストセラー「ブルーデイブック」シリーズの作家B.Tグリーヴの詩のような文章のコラボレーションにより、地球上の生き物たちが直面している危機的な「今」を再認識してもらった。美しく雄大な風景と動物たちの姿は、地球環境と動物と人間の関わりについて多くの来館者に気づきをもたらした。</p>
iv) 特別展「戊辰戦争と米沢」	
<p>■会期(58日間) 平成30年 9月15日(土) ～ 11月18日(日)</p> <p>■入場者数 15,207名</p>	<p>戊辰戦争から150年の年にあたり、幕末から明治初期にいたる米沢藩の動向を、政治面だけでなく、軍制改革や病院隊の活動、農村の負担といった社会史的な側面を加えて紹介した。全国的に戊辰戦争をテーマにした事業が行われる中、米沢藩の立場や地域の独自性を出すよう努め、子ども向けキャプションなどの工夫も好評だった。</p>

v) 企画展「上杉家伝来 皇室ゆかりの資料」	
■会期 (41日間) 平成30年11月23日(金祝) ～平成31年 1月14日(月祝) ■入場者数 4,690名	当館の資料収集業務で収集された上杉家伝来皇室の書の初公開であった。その他、国宝上杉家文書中の朝廷関連文書をはじめ、文献資料、上杉謙信が正親町天皇から拝領した五虎退の短刀、明治天皇のお気に召した姫鶴一文字の太刀、近代の天皇や皇族ゆかりの資料等で構成した。いまだ冷めやらない刀剣人気を実感した展覧会であった。
vi) 上杉博物館アートコレクション「美術の見方案内所 II～みる・きく・ふれる・かんじる～」	
■会期 (38日間) 平成31年 2月 2日(土) ～ 3月17日(日) ■入場者数 4,331名	近現代美術コレクションの公開と体感を目指した展覧会。初めてのユニバーサルな展示をブロンズ・大理石などの彫刻で試みた。答えのない美術の見方、感じ方を『みる』『きく』『ふれる』『かんじる』+「アートとくらし」の4つ+1つの切り口で紹介し、美術を少しでも身近に感じてもらえるような機会とした。

イ 常設展示事業

年間入場者数：63,011名

米沢市上杉博物館常設展示室の運営を適切に行った。

上杉文華館では、「初公開 上杉鷹山関連および幕末・明治期資料」を年間テーマに、国宝「上杉家文書」を中心とした資料を12の小テーマで紹介した。

国宝「上杉本洛中洛外図屏風」は、春（4月21日(土)～5月20日(日)）と秋（10月20日(土)～11月18日(日)）に原本を展示した。

テーマ期間	テーマ	コレクション トーク
i) 3月27日(火)～4月25日(水)	「上杉斉定の側室選び」	4月 7日(土)
ii) 4月26日(木)～5月22日(火)	「謙信が眠る御堂」	4月28日(土)
iii) 5月24日(木)～6月26日(火)	「上杉家の不幸」	5月26日(土)
iv) 6月28日(木)～7月24日(火)	「上杉家の慶事」	6月30日(土)
v) 7月26日(木)～8月21日(火)	「上杉斉定の孝行心」	8月 4日(土)
vi) 8月23日(木)～9月25日(火)	「上杉鷹山の息子、顕孝」	8月25日(土)
vii) 9月27日(木)～10月23日(火)	「上杉斉憲の参内」	9月29日(土)
viii) 10月25日(木)～11月27日(火)	「明治初期の様相」	10月27日(土)
ix) 11月29日(木)～1月 6日(日)	「米沢藩の人事」	12月 1日(土)
x) 1月 8日(火)～2月 3日(日)	「米沢藩の刑法」	1月12日(土)
xi) 2月 5日(火)～3月 3日(日)	「細井平洲の教え」	2月 9日(土)
xii) 3月 5日(火)～3月24日(日)	「上杉家の法要」	3月 9日(土)

②市立米沢図書館

郷土の先人たちを称える先人顕彰コーナーにおいて年間7本の展示を開催した。郷土資料コーナーでは古典籍や古文書等所蔵資料をもとにした展示を行った。

ア 先人顕彰コーナー

展 示	概 要
i) 「図書館の絵図展4 明治初期の米沢城周辺」	
<p>■会期（34日間） 平成30年 3月23日（金） ～ 4月25日（水）</p>	<p>図書館所蔵の岩瀬家文書の中から「置賜県米沢城郭図」や「置賜県庁並官舎図」等を展示し、明治初期の米沢城周辺の建物の状況を紹介した。併せて、所蔵する田村家文書の中から、米沢城の払下げに関する資料も紹介した。</p>
ii) 「森英介展」	
<p>■会期（61日間） 平成30年 4月27日（金） ～ 6月27日（水）</p>	<p>米沢生まれの詩人 森英介（本名・佐藤重男、1917～1951）について、詩と彼の業績を紹介した。平成29年度、森英介の遺族から寄贈された高村光太郎の直筆原稿（『火の聖女』序文）や図書館の森英介寄贈資料及び森文庫から資料を展示した。展示に併せ、記念講演会を開催した。</p>
iii) 「洋画Ⅲ 浜田浜雄展」	
<p>■会期（54日間） 平成30年 6月29日（金） ～ 8月22日（水）</p>	<p>米沢出身の洋画家 浜田浜雄を取り上げた展示。米沢市上杉博物館収蔵の初期の大作「廢墟に咲く」やシュルレアリスムに傾倒した作品「発汗体」などのほか、ドローイング、広告カット、日記、美術館関係蔵書も展示し、浜田の生涯や業績を紹介した。</p>
iv) 「甘糟継成展」	
<p>■会期（62日間） 平成30年 8月24日（金） ～ 10月24日（水）</p>	<p>戊辰戦争から150年の年にあたり、米沢藩の軍務参謀として越後戦線で指揮した甘糟継成に焦点をあて、「鷹山公偉蹟録」の著者でもある継成の生涯を紹介した。資料は平成16年に甘糟家から市立米沢図書館に寄贈された甘糟家文書を中心に展示した。</p>
v) 「写真で見る米沢のむかし展」	
<p>■会期（61日間） 平成30年10月26日（金） ～ 12月26日（水）</p>	<p>ナセBA周辺の盛衰を中心に、平成最後の年に米沢の昔の風景写真を紹介した。ショッピングセンターで賑わっていた50年程前の中心市街地の様子や、米沢駅周辺の様子をパネル展示した。</p>
vi) 「図書館の絵図展5 米沢藩の預地、越後国岩船郡の絵図」	
<p>■会期（22日間） 平成30年12月28日（金） ～平成31年 1月23日（水）</p>	<p>市立米沢図書館で所蔵する岩瀬家文書の中から、「岩瀬郡海岸絵図」、「粟島之絵図」、「磯谷郡の内御支配之絵図」等を展示した。代々米沢藩の絵図方を担ってきた岩瀬家を紹介すると共に、米沢藩が越後国岩瀬郡を預かった経緯や、明治期には北海道磯谷郡を支配した経緯も紹介した。</p>
vii) 「洋画Ⅳ 黒澤梧郎展」	
<p>■会期（61日間） 平成31年 1月25日（金） ～ 3月27日（水）</p>	<p>川西出身の洋画家で米沢にも縁深い黒澤梧郎を紹介した。米沢信用金庫所蔵の「早春」等4作品、米沢市上杉博物館所蔵の「女神」「南原民家」を展示。また興譲館高校の壁画「大巔の吾妻」をパネルで紹介したほか『インド仏像による制作』等の作品集も展示し黒澤の生涯を解説した。</p>

イ 郷土資料コーナー

古典籍・古文書等の特色ある所蔵資料を紹介した。

展 示	概 要
i) 「桜谷百首」 (林泉文庫263)	
<p>■会期 (59日間) 平成30年 4月 1日 (日) ～ 5月31日 (木)</p>	<p>歌人の泉崎真畔が詠んだ百首の歌をまとめた「桜谷百首」を紹介した。この桜谷とは、現在は古志田地区の桜神社、愛宕山の山裾で、近世には桜の名所として知られた場所である。中西南喬が描いた挿絵とともに現在の桜神社の様子も写真展示した。</p>
ii) 「南亭余韻」 (地域史料)	
<p>■会期 (59日間) 平成30年 6月 1日 (金) ～ 7月31日 (火)</p>	<p>上杉鷹山の残した言葉を編集した「南亭余韻」を紹介。文政10年(1827)に右筆の小田切盛淑が編纂したもので、同じく鷹山の言葉を集めた矢尾板唯一の「甘棠編」と比較しながら紹介した。</p>
iii) 「象潟行」 (林泉文庫262)	
<p>■会期 (59日間) 平成30年 8月 1日 (水) ～ 9月30日 (日)</p>	<p>町人の九里三郎兵衛と広瀬市左衛門が「おくのほそ道」刊行100年を機に松尾芭蕉の跡を訪ねて象潟まで旅をした際に詠んだ俳諧をまとめたのがこの「象潟行」である。象潟、鶴岡、村上と各地の俳人と詠み交わした俳諧を翻刻し、紹介した。</p>
iv) 「飯豊の山ぶみ」 (地域史料)	
<p>■会期 (59日間) 平成30年10月 1日 (月) ～ 11月30日 (金)</p>	<p>天保9年(1838)に米沢藩士の泉崎賢親が友人と飯豊山に登った際の紀行文「飯豊の山ぶみ」を展示し、米沢古文書研究会で刊行した複製本も紹介した。</p>
v) 「てには秘伝」 (林泉文庫266)	
<p>■会期 (54日間) 平成30年12月 1日 (土) ～平成31年 1月31日 (木)</p>	<p>米沢藩士で歌人の関口満雅(号・東嶺)が、宝暦三年(1753)に江戸桜田邸で書写した「てには秘伝」は、和歌における「テニハ(テニヲハ)」の使い方や用例を記した秘伝書である。姉小路式といわれる歌伝を伝える本書を展示紹介した。</p>
vi) 「総糺」 (林泉文庫428)	
<p>■会期 (57日間) 平成31年 2月 1日 (金) ～ 3月31日 (日)</p>	<p>上杉鷹山の藩政改革を支えた荏戸善政が、改革の基本方針を示した「総糺」(林泉文庫428)を展示。上書箱(目安箱)の設置などの改革を紹介した。</p>

ウ 郷土資料特集コーナー

先人顕彰コーナーで開催した「森英介展」、「写真で見る米沢のむかし展」等の展示にあわせ、関連する書籍を紹介した。また、季節にあわせ「うごぎ」「米沢の冬」といった特集や、「イザベラ・バード」、「米沢と印刷・出版文化」、「歴史親善友好都市 南魚沼市」等の特集展示を行った。また、米沢市上杉博物館の特別展「直江兼続 ―兼続と新時代を切り開いた人たち―」について郷土資料特集コーナーで関連書籍を紹介した。その他の展示については一般の特集コーナーで紹介した。

(3) 市民に必要かつ有用な図書・記録等の収集に努め、広く利用に供し、相談に応じる

①図書・記録等の収集

市立米沢図書館では資料収集方針や選定基準、受入基準等に基づき、館蔵図書・資料の充実をはかるため、図書、資料の収集活動を行った。

新規購入資料数 : 10, 273点 (DVD・CDを含む)

寄贈受入資料数 : 1, 192点 (DVDを含む)

選書会議 : 毎月休館日に開催

②図書・記録等の提供

ア 市立米沢図書館

(ア) 図書及び図書館所蔵資料の貸出・閲覧、返却

所蔵する本、雑誌、新聞、CD・DVD、インターネット・データベース、マイクロフィルム資料について、利用者への貸出あるいは閲覧に供した。また自動車文庫車「アタゴオル」で市内の公共施設、教育施設、福祉施設等を巡回し資料の貸出や返却を行うことで、広く市民へ図書館のサービスを提供した。

本館貸出冊数 : 401, 060冊

自動車文庫車アタゴオルでの図書貸出冊数 : 36, 838冊 (月71箇所巡回)

(イ) 相互貸借

利用者の求めに応じ他館との資料の相互貸借を円滑に行い、適正な貸出・返却作業を行った。また、他図書館からの求めに応じ、所蔵資料を提供した。

他館への貸出冊数 : 365冊

他館からの借受冊数 : 431冊

(ウ) 複写サービス

著作権の範囲内で資料の複写サービスを行った。遠隔地からの複写依頼にも対応した。

遠隔地からの複写依頼への対応 : 39件

イ 米沢市上杉博物館

(ア) 情報ライブラリーの展開と更新

企画展に関する書籍のコーナーを設置し蔵書を充実させるとともに、書籍の排架の仕方を工夫するなど、閲覧者の利便性に配慮した。また蔵書の点検と整理作業を行い、図書整理サポーターと協働しながら書庫の整備に努めた。さらに、新規コンテンツ「明和六年米沢城下絵図デジタルマップ」のWEB版、機能追加版を製作し公開した。

新規受入図書資料数 : 1, 618冊

③レファレンス

市立米沢図書館では、各種レファレンスに回答し来館者サービスを推進した。また所蔵資料や展示資料等についての質問にも答え、特に郷土米沢に関する質問については特設のレファレンスカウンター（郷土資料調査相談）にて対応した。

一般レファレンス カウンター対応 279件

郷土資料レファレンス 調査を要するもの 126件

来館者や電話によるもの 多数

(4) 文化財等の適正な保存・管理に努め、収蔵文化財総合データベースの充実を図る

①収蔵・展示環境整備

資料や設備・機器の更新やメンテナンスを計画的に進め、より良い博物館展示環境の維持、図書館貴重書庫の保全に努めた。また米沢市上杉博物館では IPM（総合有害生物管理）を年間通して取り組み、館全体として収蔵・展示環境の向上を継続的に行った。

【主な活動内容】

- ・エリア区分による段階的管理
- ・粘着トラップの設置
- ・展示ケース内アートソープ入替え
- ・作品のクリーニング
- ・空気環境調査
- ・毎月の定期清掃
- ・害虫の防除
- ・定期的な温湿度測定
- ・新収蔵資料の燻蒸
- ・一般、特別収蔵庫のクリーニング

②資料・図書の整理・保管

ア 資料管理公開データベースに関する作業

「米沢市上杉博物館・市立米沢図書館収蔵文化財総合データベース」について、機能の改善、公開資料の充実や資料情報の訂正、充実につとめた。新規受入資料の登録確認、画像データベースとのリンク構築などを継続して行った。資料のラベリングや登録、追加作業を行い、登録済み資料の画像リンクやラベルプリントなど資料と直結した管理を強化した。また、管理データベース全体の不具合部分の調整も実施した。

(ア) 米沢市上杉博物館

- ・新規受入資料のうち28件（764点）の登録、画像データベースとのリンク構築などを行った。
- ・収蔵文化財総合データベースに新規登録368点を加え、現在13,519点を公開。

(イ) 市立米沢図書館

- ・デジタル化が完了している写真データの整理を行った。
- ・市立米沢図書館デジタルライブラリーで442点の資料を継続公開した。
- ・図書館サポーターによる「岩瀬小右衛門記録」（林泉文庫413）の翻刻作業。

イ 収蔵資料及び図書の整理、解読

(ア) 米沢市上杉博物館

- ・新規収蔵資料の整理に努めた（高梨源五郎家資料、古川家伝来資料他）。
- ・楡井家文書約338点、丸山家伝来雲井龍雄関係資料約50点、山田家文書約460点の資料カード作成とデータ化（一部）を行った。

(イ) 市立米沢図書館

- ・1点ごとの資料データを集積して適正な排架に努め、利用者の利便性を考慮して随時整理を行った。

ウ 収蔵資料の写真撮影

新規受入資料、平成30、31年度開催展覧会出品資料の写真撮影を行った。また、収蔵資料の内部管理のために使用する写真の撮影も行った。

エ 上杉邦憲氏寄託資料整理

資料の整理および外箱のクリーニングを行った。

オ 収蔵資料及び図書の修理・点検

(ア) 米沢市上杉博物館収蔵資料の修理

i) 歴史関連資料

以下の資料の修理等を行ったほか、大型資料用、掛軸用に保存用中性紙箱を新調した。

資料名	員数	内容
a 上杉茂憲漢詩 「戊辰討庄先鋒細越駅述懐」	一幅	応急処置を行った。 修復者：杉山恵助（東北芸術工科大学 文化財保存修復研究センター）
b 刀 銘（表）以五郎入道正宗 末孫綱広嫡伝正秀作之 c 刀 無銘（平安城） d 脇差 無銘（中津川家伝来） e 刀 銘 長幸於撰津国作之	各一口	白鞘割直し、刀装具の新調などを行った。 委託先：株式会社日本刀剣

ii) 美術関連資料

資料名	員数	内容
a 後藤克芳「Heart」 b 後藤克芳「MEMORY」 c 後藤克芳「My hand is dirty」 d 後藤克芳「NY SUNDAY」	各1点	ひび、ねじの外れ、欠損の修復を行った。 修復者：及川崇（おいかわ美術修復）

(イ) 市立米沢図書館蔵書点検

実施日：自動車文庫 平成30年10月15日（月）～10月16日（火）
書庫 平成31年 1月 4日（金）～ 1月24日（木）
開架・郷土資料 平成31年 2月 1日（金）～ 2月 7日（木）
不明本：106冊（全蔵書 332, 978冊 ※平成31年2月15日現在）
不明率：約0.03%

カ 米沢市上杉博物館収蔵資料の複製作成

展示・貸出頻度が高く劣化が心配されるため、下記資料の複製を作成した。

・国宝上杉家文書

「(慶長3年)正月10日豊臣秀吉朱印状」 1通 作成者：大塚巧藝社

キ 市立米沢図書館所蔵資料の除籍・廃棄

亡失や汚破損等で不要となった資料について、条例・規程に基づき除籍・廃棄を行った。

図書、雑誌、AV資料：6,241点

新聞：毎日新聞 平成28年 4月 1日～平成29年 3月31日分
読売新聞 平成28年 4月 1日～平成29年 3月31日分
日経新聞 平成27年 4月 1日～平成28年 3月31日分
産経新聞 平成28年 4月 1日～平成29年 3月31日分
河北新報 平成27年 4月 1日～平成28年 3月31日分
スポーツ報知 平成29年 4月 1日～平成30年 3月31日分
日刊スポーツ 平成29年 4月 1日～平成30年 3月31日分

2 教育・学術・文化施設との連携及び教育普及に関する事業

(1) 家庭教育の向上や学校の学習活動の支援に力を注ぎ、子どもの読書活動を推進する

①子どもの読書活動を推進する事業

「米沢市子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもの読書活動の推進に関する事業や、蔵書を活用した事業を行った。

ア 読書活動推進事業

(ア) おはなしかい

参加者数：計 702名

サポーターや外部ボランティア団体の協力を得ながら、子どもや親子を対象とする読み聞かせ活動を行い、本や図書館、読書への興味を持ってもらうことを目指した。また平成30年度は外部講師による読み聞かせの機会も設けることができた。

i) 亀岡亜希子氏による読み聞かせ 平成30年 8月18日(土)

ii) 今井コレット氏による英語の読み聞かせ 平成31年 3月16日(土)

(イ) ブックスタート

参加者数：親子497組

米沢市主催の7か月児健診の際、参加した親子を対象に読み聞かせを行い、本と触れ合う楽しさを感じてもらおうことを目指した。参加者だけでなく、健診未受診者へも絵本をプレゼントした。

(ウ) 「アタゴオルによる絵本読み聞かせ」、「小学校巡回文庫」

自動車文庫「アタゴオル」で市内の保育園など4か所に出向き、読み聞かせと本の貸出し体験を行う「アタゴオルによる絵本読み聞かせ」を2回開催した。また、市内の小学校18校へ巡回し、テーマ別の図書の貸出を行った。

(エ) 米沢市小中学生読書感想画展

観覧者数：合計 約 1,916名

子どもたちの読書意欲を高めるとともに、柔らかな感性と豊かな想像力を育むことを目的とし事業を展開した。11月から読書感想画の作品募集を開始し、審査会後、小中学生の作品計538点を展示した。

展示期間：平成30年12月12日(水)～12月16日(日)

展示場所：よねざわ市民ギャラリー

イ 2018夏休み子ども図書館フェア

子どもたちの本や図書館、読書への興味を促すため、読み聞かせやワークショップ、館内ツアーなどを企画し、本や図書館、読書への興味を促す催しを企画した。

開催期間：平成30年 7月26日(木)～ 8月 5日(日)

(期間中9プログラム実施・参加者311名)

(2) 日常的な地域学習の場となる多様なプログラムを用意し、学社連携を推進する

①地域・学校との連携

ア 学校の利用

見学対応のほか、出前授業や出前ブックトーク、連携授業を展開した。

(ア) 米沢市上杉博物館

・施設利用、見学

年間 38件、 2,274名 受入

- ・プレイショップ利用
年間 6件、 78名 利用
- ・ミュージアムスクール（学校側が来館し、学芸員が授業に参加したもの）
年間 9件、 991名 受入
- ・出前授業（博物館側が学校へ資料を持って出向くもの）
年間 26件、 1,999名 受入

(イ) 市立米沢図書館

- ・施設視察、見学
年間 35件、約1,136名 受入
- ・出前ブックトーク（図書館側が学校へ出向き読み聞かせ等を行いながら本を紹介するもの）
年間 1件 小学校 1校
- ・小学校図書館部会
年間 1件 講師 3名派遣 テーマ：「効果的な図書室経営について」

イ 職業体験、博物館実習の受け入れ

職場体験 米沢市上杉博物館：年間3件（市内中学生、山形大学生、教員）20名受入
市立米沢図書館：年間3件（市内中学生、市内高校生、大学生）7名受入
博物館実習 4大学 7名 受入（期間： 8月22日（水）～8月27日（月））

ウ 博物館無料観覧証の発行と利用促進

米沢市上杉博物館では、市内中学校、置賜地区内高等学校の生徒が展示室へ無料で入館できる「観覧証」の利用を呼びかけ、自発的学習の場としての博物館利用を促した。

②体験学習プログラムの展開

米沢市上杉博物館において、子どもたちの想像力と創造力をのばす造形や日本の手わざを体験するプログラムを提供した。

- ア 常設プレイショップの展開 年間利用者数： 9,572名
- 日本の年中行事の紹介や月ごとの造形体験の充実、新プログラムの提供で、世代を超えて多くの方に楽しんでいただいた。材料、手法の吟味に時間をかけ、より完成度の高い造形に導くよう努力しリピーターの増加につなげた。
- 清潔・安全・安心に十分配慮することはもとより、配布資料の見易さへの配慮や、体験学習室全体の利用しやすい雰囲気づくりを常に心がけた。また、定期的な勉強会で、来館者対応のスキルアップを計り、利用者により喜んでもらえる運営を目指した。

イ ワークショップの開催 年間参加者数： 564名

(ア) 募集制プログラム

新しいプログラムや夏休みの特別プログラムを加えるとともに定番プログラムのブラッシュアップにより多様なニーズに対応した。

活動14年目を迎えたチルドレンキュレーターズ（こども学芸員）は、「ワークショップをつくる」をテーマに、チルドレンキュレーターズプレゼンツ 募集制ワークショップ「身近なものでつくろう！～ペーパー芯のお花のリース～」 「日本の手わざ～紙と糸 和綴じの知恵～」を開催し、15名の参加者があった。

（年間31プログラム実施・参加者267名）

(イ) 自由参加制プログラム

「笹巻きっていいなあ」、愛の兜折り紙ボランティア会の協力による「かわりかぶとに挑戦」、米沢とんとむかしの会（伝国の杜サポーター）の協力による「むかしむかしをきこう」を5回開催した。

（年間3プログラム計7回実施・参加者297名）

(3) 生涯学習施設また地域の交流拠点として、市民の学習と活動の機会を提供する

①多様な学びを提供する事業

ア 講座の開催

(ア) 第62回 古文書解読講座 参加者数： 34名

i) 第1回 「甘糟家文書を読む」

平成31年 2月16日（土）10:00～16:00

主幹 青木昭博

ii) 第2回 〈前半〉「文の燈を読む」 〈後半〉「置賜地方の近世文書を読む」

平成31年 2月23日（土）10:00～16:00

〈前半〉主幹 青木昭博 〈後半〉小林文雄氏（山形県立米沢女子短期大学教授）

(イ) 第29回 古典文学講座 参加者数： 62名

i) 第1回 「米沢と『平家物語』一藩主の文事と藩士の蔵書から」

平成30年11月10日（土） 14:00～15:30

宮腰直人氏（山形大学人文社会科学部 准教授）

ii) 第2回 「天皇家の由来と神話—新帝即位の前年に—」

平成30年11月17日（土） 14:00～15:30

北野達氏（米沢女子短期大学 名誉教授、熊野大社宮司）

iii) 第3回 「米沢商人のおくのはそ道行脚—当館蔵『象潟行』からみる」

平成30年11月24日（土） 14:00～15:30

主任郷土資料員 石黒志保

(ウ) 第33回 ふるさと歴史講座 参加者数： 74名

i) 第1回 「米沢藩士 上与七郎（中條政恒）の幕末・明治」

平成30年10月10日（水） 18:30～20:00

高橋敬一氏（米沢古文書研究会会長）

ii) 第2回 「甘糟継成と戊辰戦争」

平成30年10月17日（水） 18:30～20:00

主幹 青木昭博

(エ) こどもふるさと歴史講座 参加者数：208名

i) 第1回 「舘山城」

平成30年10月 9日（火） 8:45～ 9:30

ii) 第2回 「舘山城現地見学会」

平成30年10月17日（水） 14:00～14:50

i、ii 講師：主幹 青木昭博

受講者：米沢市立西部小学校6年生 104名

イ 2018読書週間図書館フェアの開催

秋の読書週間に合わせて「2018読書週間図書館フェア」を開催し、雑誌の付録抽選会やリサイクル市など蔵書を活用したイベント、本のフィルムコートや豆本製作体験、館内ツアー等を行った。

開催期間：平成30年10月26日（金）～11月 9日（金）

（期間中6プログラム実施・参加者420名）

②講演会、展示解説

ア 講演会、イベント

展示内容の理解深化を目的に、米沢市上杉博物館の3つの事業、市立米沢図書館の1つの事業、米沢市民ギャラリーの2つの事業で講演会やトークイベント等を開催した。

(ア) 米沢市上杉博物館

i) 講演会「石田三成と直江兼続」(特別展「直江兼続」)

平成30年 5月12日（土）14:00～16:00

中野 等 氏（九州大学大学院比較社会文化研究院教授） 参加者数：120名

ii) 「岩合光昭トークショー・サイン会」(企画展「岩合光昭」)

平成30年 8月 9日（木）18:00～20:00

岩合 光昭 氏（動物写真家） 参加者数：245名

iii) 講演会「戊辰戦争の社会史 一軍隊と民衆」(特別展「戊辰戦争と米沢」)

平成30年10月28日（日）14:00～16:00

保谷 徹 氏（東京大学史料編纂所長） 参加者数：110名

(イ) 市立米沢図書館

i) 記念講演「「地方」を出る森英介—雑誌『労農』前後を中心に」(森英介展)

平成30年 5月27日（日）14:00～15:30

森岡 卓司 氏（山形大学人文社会科学部 准教授） 参加者数：20名

(ウ) よねざわ市民ギャラリー

i) 亀岡亜希子氏 ギャラリートーク（亀岡亜希子原画展）

第1回 平成30年 8月18日（土）15:00～

第2回 平成30年 9月 2日（日）11:00～

第3回 平成30年 9月 2日（日）13:00～

ii) 高橋朗ギャラリートーク（ARTS MEET OKITAMA 2018 大賞展）

平成31年 2月16日（土）14:00～

高橋朗氏（ARTS MEET OKITAMA 2018大賞受賞者）

イ 展示解説

(ア) ギャラリートーク

米沢市上杉博物館において、特別展・企画展・コレクション展にあわせたギャラリートークを年間14回（いずれも14時から）開催した。

- i) 特別展「直江兼続」
 - 平成30年 4月21日(土) 学芸主査 阿部哲人
 - 5月20日(日) 学芸主査 阿部哲人
- ii) 企画展「後藤克芳の世界」
 - 平成30年 6月 2日(土) 学芸主査 花田美穂
- iii) 企画展「岩合光昭 どうぶつ写真展」
 - 平成30年 7月28日(土) 主任学芸員 遠藤友紀
- iv) 特別展「戊辰戦争と米沢」
 - 平成30年 9月15日(土) 主任学芸員 佐藤正三郎 「幕末維新期の米沢藩」
 - 10月 6日(土) 布施賢治氏(山形県立米沢女子短期大学教授) 「米沢藩の軍制改革」
 - 10月20日(土) 主任学芸員 佐藤正三郎 「戦場の現実」
- v) 企画展「上杉家伝来 皇室ゆかりの資料」
 - 平成30年11月23日(金祝) 学芸主査 角屋由美子 「展覧会の見どころ」
 - 12月15日(土) 学芸主査 角屋由美子 「上杉家伝来 皇室の書」
- vi) 上杉博物館アートコレクション展「美術の見方案内所Ⅱ」
 - 平成31年 2月 2日(土) 学芸主査 花田美穂

(イ) コレクショントーク

米沢市上杉博物館常設展示室の上杉文華館の展示内容について、国宝上杉家文書をはじめ、古文書等の資料とともに紹介するコレクショントークを年間12回開催した。内容は別掲。解説は学芸主査 角屋由美子。いずれも14:00から開催。

③レファレンス

米沢市上杉博物館では、収蔵資料、展覧会関連資料、置賜地域の歴史・芸術などにかかわる質問に答えることを通して、市民の学習と活動の機会を提供した。

各種レファレンスの対応	調査を要するもの	80件
	来館者・電話によるもの	多数

④出版、監修

施設の事業活動に関する書籍・冊子を発行し、協力者や市民に対するPR活動を行った。

ア 米沢市上杉博物館展覧会図録の刊行

- 特別展図録『直江兼続 ―兼続と新時代を切り開いた人たち―』(1, 000冊)
- 企画展図録『後藤克芳の世界 ―アートがアートでなくなる瞬間!?!―』(500冊)
- 特別展図録『戊辰戦争と米沢』(1, 000冊)

イ 平成29年度米沢市上杉博物館年報の発行(500冊)

ウ 「伝国の杜だより」の発行

第34号、第35号(各5, 500部)

エ 「図書館だより」の発行

第7号、第8号、第9号、第10号(各2, 000部程度)

オ 市立米沢図書館郷土資料報告書の刊行

『米沢の神社・堂宮13―東部・松川地区―』(250冊)

カ 市立米沢図書館概要の発行(300冊)

キ 米沢市上杉博物館教育普及だよりミュージデュウの発行

春・夏・秋・冬号(各20, 000枚)

⑤施設貸与事業（収益等事業2）

米沢市から指定管理者として受託する施設を、貸出基準に照らし適正に貸与した。円滑な管理運営を行うとともに、利用者のニーズを把握し、利用促進に努めた。

ア 米沢市上杉博物館会議室

利用件数： 256 件
利用者数： 6,820 人

イ 米沢市まちなか駐車場

利用台数： 125,497 台

（4）市民の経験や知識及びボランティアと協働し、各施設のサービスの充実に努める

①サポーター運営事業

市民の活力を取り入れた活発な事業運営を目指し、一般市民がそれぞれの興味・関心・得意分野を活かして当財団事業に参加することができるようボランティア活動の場を提供した。また、サポーター個々人の資質向上とサポーター同士の交流を目的に伝国の杜サポーターと図書館サポーターの合同研修会を行い、東根市のまなびあテラスと出羽桜美術館を視察・見学した。

平成30年度 伝国の杜サポーター&図書館サポーター合同研修会

日 時：平成30年 9月 2日（日）

参加者数：13名（伝国の杜サポーター8名、図書館サポーター5名）

ア 伝国の杜サポーター

登録数：24名

インフォメーション、広報、レセプション、教育普及、洛中洛外図屏風案内、図書整理の各分野における定期的な活動のほか、博物館講演会や市民茶会の事業補助、花壇の整備など職員が行っている業務をサポートしていただいた。館外でも事業のロコミを広め、知人を誘い自らサポーター勧誘を行うなど、活躍の場が広がる一年となった。

イ 図書館サポーター

登録数：58名

日々の活動としての書架整理、返本作業、修理等のサポートに加え、子ども向けの読み聞かせでは「おはなしかい」や「ブックスタート」などに参加いただいた。郷土資料のサポートでは、古文書の翻刻及び入力作業と翻刻の校正作業、「上杉文書」や「米沢新聞」のマイクロフィルムからのデジタル化作業を協働し進めている。また研修会として、伝国の杜サポーターと合同研修のほか、今井コレット氏を講師に迎え英語の読み聞かせに関するアドバイスをいただいた。さらに、平成31年3月にサポーター通信第1号を発行した。

②伝国の杜ファンクラブ事業（収益等事業3）

平成30年度の入会者数は以下のとおりであった。会員向け事業としてバスツアーを開催し、好評であった。また、設立10年を記念し、10回更新の会員に図録を贈呈するキャンペーンを開始した。

会員数：328名（内 訳 一般 297名、学生 17名、ジュニア 14名）

会員に対しては下記の事業を行った。

ア 会報及び財団自主事業情報の送付

イ 米沢市上杉博物館常設展示室・企画展示室への入館特典の付与

ウ 置賜文化ホール主催事業の先行予約・割引販売（一部公演除く）

エ ミュージアムショップにて展覧会図録・オリジナル商品の10%割引販売

オ ファンクラブ会員限定事業の開催

バスツアー「幕末の旅」福島県立博物館『戊辰戦争150年』見学会

日 時：平成30年 9月30日（日）

参加者数：28名（会員21名、同伴者7名）

3 芸術・文化活動の創造、支援及び鑑賞機会の提供に関する事業

(1) 優れた作品や舞台芸術に親しむ機会を提供し、芸術・文化活動の創造気運を高める

①よねざわ市民ギャラリー自主・共催事業

米沢市上杉博物館や市内の芸術文化団体と連携し、スライディングウォールの移動やオープンギャラリーの活用などギャラリーの機能を活かした展示を行った。

展 示	概 要
i) 「米沢の四季展」	
■会期 （30日間） 平成30年 4月 7日（土） ～ 5月 6日（日） ■入場者数 1,829名	「米沢の四季」をテーマとした絵画・彫刻・書・写真・工芸などの作品を一般から募集し、米沢市上杉博物館収蔵の郷土にゆかりのある芸術家による作品（遠藤桑珠や土田文雄、志賀三郎など）と併せて一堂に展示した。
ii) 「米沢発、米沢出身のアーティスト展」	
■会期 （6日間） 平成30年 7月 3日（火） ～ 7月 8日（日） ■入場者数 954名	「あくなき創造と想像への探求」を目指し、椿貞雄や本間国生、後藤克芳などの米沢市上杉博物館収蔵作品から現在活躍中の作家による作品まで、明治から平成にかけ活躍した（している）米沢ゆかりの作家たちを主題として幅広い展示を行った。
iii) 「米沢の四季がはぐくんだ絵本作家 亀岡亜希子原画展」	
■会期 （20日間） 平成30年 8月14日（火） ～ 9月 2日（日） ■入場者数 3,840名	米沢出身の絵本作家、亀岡亜希子氏の未発表作品を含む絵本原画約180点を展示。中学校における夏休みの課題に取り上げられるなど幅広い年代層から注目を集めた。関連企画として氏によるギャラリートーク及びサイン会、絵本読み聞かせ、ウッディコンサートでのピアノ演奏を伴う絵本読み聞かせを開催した。また、会場には特設ショップを併設し、亀岡氏の書籍、ポストカードや原画を販売した。
iv) ARTS MEET OKITAMA 2019 & ARTS MEET OKITAMA 2018大賞 高橋朗展	
■会期 （9日間） 平成31年 3月16日（土） ～ 3月24日（日） ■入場者数 1,969名 ■共催 ARTS SEED OKITAMA 米沢市芸術文化協会	前年度に開催した「ARTS MEET OKITAMA2018」のコンセプトを引継ぎ、置賜地域で活動する作家や作家志望者、他地域で活躍する置賜出身の人などから広く作品を募集した。会場には応募者95名の作品を展示し、作品を販売するショップを併設した。また、「ARTS MEET OKITAMA2018」の来場者投票で大賞を受賞した高橋朗氏の、空間全体を利用した作品を展示する「ARTS MEET OKITAMA 2018大賞 高橋朗展」も同時開催した。

②オープンギャラリー展示事業

会 期：	i) 平成30年 3月22日(木) ～	6月27日(水)
	ii) 平成30年 6月28日(木) ～	9月26日(水)
	iii) 平成30年 9月27日(木) ～	平成31年 1月23日(水)
	iv) 平成31年 1月24日(木) ～	4月24日(水)

ナセBA1階の通路部分を「オープンギャラリー」とし、米沢市上杉博物館所蔵の椿貞雄、土田文雄、黒澤梧郎、浜田浜雄、後藤克芳の洋画、我妻碧宇、本間国生、遠藤桑珠の日本画、桜井祐一の彫刻作品から計5～6点程度を、3か月ごとに展示替えをしながら公開した。

③芸術文化活動の支援・鑑賞事業

ア 置賜文化ホール

(ア) 米沢市共催事業

良質で低廉な有料公演を開催するとともに、市民の文化活動を支援し、米沢市を中心とする地域住民の文化的水準の向上に資する事業を、米沢市の負担金により実施した。

公 演	概 要
i) ベルギー金管アンサンブル Traveling Brass	
■公演日 平成30年 6月16日(土) 開演 18:30 ■来場者数 328名	世界を舞台に活躍する金管楽器奏者のグループを招きコンサートを実施。本グループの国内ツアーでは東北地方で唯一の公演であったことから、県内外からの多くの音楽ファンのほか、上杉敏子基金事業の招待により地元の小学生と保護者が来場し、高い技巧とユーモアあふれるコンサートを楽しんでいた。
ii) 三遊亭小遊三・林家たい平二人会	
■公演日 平成30年 8月21日(火) 開演 18:30 ■来場者数 455名	テレビで人気の落語家による二人会。前回の二人会でリクエストの多かった二人を招いた。前回からの人気によるリピーターや、前回チケットを購入できなかった方からの問い合わせも多く、盛況であった。当日は生き生きとした古典落語の披露で大いに盛り上がった。
iii) おきたまの秋空に響け！吹奏楽の日コンサート2018	
■公演日 平成30年10月 7日(日) 開演 9:30 ■来場者数 1,730名 ■共催 置賜地区吹奏楽連盟	小編成から大編成まで多様な吹奏楽サウンドを屋内外で響かせるこのコンサートは、普段は演奏会に足を運ばない層も気軽に来場しやすく、地域の吹奏楽事情を知ることができる一方、出演団体がお客様とともに作り上げる運営スタイルが定着している。参加者からは、より幅広い層の参加を見込めるような文化イベントとして継続を求める声が寄せられた。
iv) 新・純邦楽ユニット WASABI LIVE 2018 ～日本の心・和の響き～	
■公演日 平成30年10月27日(土) 開演 15:00 ■来場者数 294名	人気と実力を兼ね備えた津軽三味線奏者「吉田兄弟」の兄 吉田良一郎氏を中心とした純邦楽ユニット「WASABI」による和楽器のライブを開催した。音響と照明の効果も含めたライブ感あふれるパフォーマンスに賞賛の声が多くあがった。集客は振るわなかったが、県外から訪れるファンもいたり、とても効果的な催しであった。

v) 山形交響楽団ユアタウンコンサート2018米沢公演	
■公演日 平成30年12月 2日(日) 開演 16:00 ■来場者数 479名 ■共催 山形交響楽協会	全盲のピアニスト梯剛之をソリストに招き、山形交響楽団のコンサートを行った。長年にわたりリサイタル等で当地を訪れている梯氏のピアノ協奏曲を聴いてみたいというニーズを事業に反映する方法で企画。多くの地元ファンが訪れるなどして盛会となった。能舞台上でのウェルカム演奏や、プレ・コンサートトーク、終演後の交流会も含めて好評だった。
vi) 市民ミュージカル育成事業	
■指導日 平成30年4月～ 平成31年3月まで 講師派遣12回 ■講師レッスン参加者数 29名(通年) ■年度末成果発表会来場者数 211名	よねざわ市民ミュージカルは、プロが育成する市民劇団という東北でも珍しい形態で、2009年に米沢市が創設した。その運営の一部を継承し、指導者の派遣や成果発表の公演実施を通して支援を行った。

(イ) 山形県補助事業(地域文化力育成事業)

山形県からの補助金により以下の公演、事業を実施した。置賜地域の文化拠点施設として定着していくことを目指し、アマチュア活動団体等に活躍・研鑽の場を提供することにより、地域の文化向上とホールの賑わい創出を図った。

公 演 ・ 事 業	概 要
i) Jazz Café Live～林宏樹クアルテット～	
■公演日 平成31年 2月 7日(木) 開演 18:30 ■来場者数 84名	東北各地で活躍するミュージシャンが登場。上杉雪灯籠まつりの開催に因み、Jazz Café Live オリジナルナンバー「雪灯籠組曲」をクアルテット編成で演奏し来場者にアピールした。毎年恒例の企画として地域のファンに定着し、再演を望む声が寄せられている。
ii) 伝国の杜オーケストラ事業	
<input type="checkbox"/> 弦楽講習会 平成31年 1月20日(日) 参加者数: 42名 <input type="checkbox"/> オーケストラ・クリニック 平成31年 2月11日(月祝) 参加者数: 71名 <input type="checkbox"/> 公開練習会 平成31年 3月 3日(日) 参加者数: 71名 公開来場者数: 68名	置賜を拠点に活動する管弦楽団が母体となり有志を交えて伝国の杜オーケストラを編成。今年度は山形交響楽団のメンバーによる弦楽クリニックのほか、他の地域で活動する指導者を講師に招くなど、合奏の基礎から音楽の楽しみ方などをテーマに講座を開催し、参加者は充実した練習で今後の活動に向けたヒントや刺激を得ることができた。

イ 米沢市市民文化会館

米沢市市民文化会館米沢市共催事業として、芸術、文化、レクリエーションに触れる機会を提供し、その普及振興を図り、米沢市を中心とする地域住民の文化的水準の向上に資する公演を開催した。

公 演	概 要
(ア) 米沢市市民文化会館子育て支援事業 「ケロポンズ 親子コンサート」	
■公演日 平成31年 3月10日(日) 開演 13:30 ■来場者数 880名	「エビカニクス」のパフォーマンスで高い評価を受けているケロポンズの親子コンサートを開催した。子どもだけでなく大人も楽しめるステージで、グッズ販売やサイン会にも長蛇の列ができ、来場者からも大変好評であった。
(イ) 米沢市市民文化会館にぎわいづくり支援事業 DRUM TAO「SPECIAL LIVE 2019」	
■公演日 平成31年 3月19日(火) 開演 19:00 ■来場者数 968名	人気和太鼓集団 DRUM TAO によるパフォーマンスに魅了され、前回に引き続き満席となった。年々進化を遂げるステージパフォーマンスに、来場者にとっても満足度の高い公演となった。

ウ よねざわ市民ギャラリー

月に1回の図書館休館日(第4木曜日)を利用し、ギャラリー展示室にて「ウッディコンサート」を計5回(プロ演奏者によるもの1回・アマチュア演奏者によるもの4回)開催した。木管楽器、金管楽器、鍵盤楽器、打楽器など多様な楽器からなる演奏会となり、中心市街地のにぎわいづくりの一助ともなった。

(ア) 第14回 「サクソフォンの夕べ」

開催日：平成30年 6月28日(木) 19:00～ 来場者数：117名

(イ) 第15回 「リコーダーアンサンブル」

開催日：平成30年 7月26日(木) 19:00～ 来場者数：84名

(ウ) 第16回 「～読み聞かせとピアノ～ 絵本の世界にいざなう夕べ」

開催日：平成30年 8月23日(木) 19:00～ 来場者数：165名

(エ) 第17回 「打楽器四重奏」

開催日：平成30年11月22日(木) 19:00～ 来場者数：35名

(オ) 第18回 「クラリネット五重奏」

開催日：平成31年 2月28日(木) 19:00～ 来場者数：68名

④収蔵資料の貸出

博物館以外の場所で市民が実物資料に触れる心豊かな文化体験の機会をつくるため、博物館収蔵の美術作品を市内の学校・公共施設に貸し出した。

年間 11件 38点

(2) 充実した展示機能で新たな芸術活動にも対応し、市民の活動成果を広く公開する

よねざわ市民ギャラリーにおいて、置賜地域に縁のある作家または作家志望者から、幅広く作品を公募する展覧会を開催した。合わせて前年度同企画での大賞受賞者の個展を開催した。

「ARTS MEET OKITAMA 2019 & A.M.O.2018 大賞展」(再掲)

(3) 活動を楽しみ交流する場を提供し、次世代を担う子どもや若手芸術家を育成する

市民や、置賜地方・東北地方を拠点とするアーティストの芸術文化活動を支援するため、置賜文化ホールの米沢市共催事業としてよねざわ市民ミュージカルの育成事業（再掲）を、よねざわ市民ギャラリーにおいて、「ウッディコンサート」（再掲）5回の公演のうちアマチュア演奏を4回行った。

よねざわ市民ミュージカル育成事業

よねざわ市民ギャラリー ウッディコンサート

(4) 能舞台を活用して伝統芸能の継承・普及につながるプログラムを展開する

①能楽関係事業

施設の特長をいかし、藩政時代より現代に継承されてきた能楽の普及を図った。一方でこども狂言の育成に取り組み、地域に活動を紹介することでも能楽振興に貢献した。

企 画	概 要
ア 平成30年度山形県能楽の祭典	
<p>■公演日 平成30年 9月 9日（日） 開演 9：30</p> <p>■来場者数 98名</p> <p>■共催 山形県能楽協会</p>	<p>山形県内の能楽愛好家による発表の場を設け、各団体の研鑽と交流の場を提供した。こども狂言クラブも出演し、団体全体の交流の輪が広がった。しかし、参加者の高齢化に伴う出演団体の減少、能楽という伝統芸能へ足を運んでもらうための方法など、広報・運営面に大きな課題を残した。チラシに公演の詳細を記入する、博物館来館者へも案内するなどの対策を行った。</p>
イ 金剛流能公演	
<p>■公演日 平成30年11月10日（土） 開演 13：30</p> <p>■来場者数 415名</p>	<p>金剛流若宗家の金剛龍謹氏がシテを勤めた能「鞍馬天狗白頭」では、幼い牛若丸とともに登場する大勢の子役に、プロの子役に連なる手法で地元の子どもたちを起用した。一方、こども狂言クラブゆかりの野村万蔵家からは人間国宝の野村萬氏を迎えて狂言「咲嘩」を上演。来場者からは大きな拍手が贈られた。</p>
ウ 伝国の杜こども狂言クラブ	
<p>■狂言師の稽古 平成30年5月～ 平成31年3月まで 計12回</p> <p>■自主稽古会 随時</p> <p>■発表 「山形県能楽の祭典」など 計6回</p> <p>■参加者数 10名</p>	<p>5歳から高校生まで10名の地元の子どもたちに狂言の稽古を実施した。一年を通してプロの狂言師から指導を仰ぎ、年度末には発表会で成果を披露した。また、萬狂言とこども狂言クラブが共同制作した創作こども狂言「猿かに」を初演し、新たな話題を提供したほか、独自の切り口で表現されたストーリーがわかりやすく狂言に親しみが生まれたと来場者に大変好評だった。</p>

4 歴史・芸術・文化活動拠点の運営に関する事業

(1) 上杉家・米沢藩及び郷土作家研究の拠点として、広く開かれた施設をめざす

①特別利用・掲載利用・資料貸与

管理条例に基づき、迅速かつ正確に申請の収受、許諾業務を行った。

ア 米沢市上杉博物館

特別利用の受付と対応		25	件
館蔵資料の掲載および写真貸与許可等の処理（資料管理と連動）		346	件
資料貸出の受付と対応		23	件
寄託資料の一時持出し対応		1	件
市保有近現代美術作品入替作業の出納立合い	2回	16	点
ナセBAオープンギャラリーへの作品の貸出		24	点
よねざわ市民ギャラリー自主事業への作品貸与		13	点
市立米沢図書館郷土資料自主事業への作品貸与		21	点

イ 市立米沢図書館

古文書・古典籍の閲覧	241	件	1,463	点
古文書・古典籍の撮影	144	件	491	点
古文書・古典籍の貸出	20	件	21	点
その他特別貸出（禁帯本等）	13	件	105	点
館蔵資料の掲載および写真貸与許可等の処理	39	件		

②ミュージアムショップ事業（収益等事業1）

平成30年度は下記の事業を行った。

ア 来館者にとって魅力あるショップを目指し、日常の業務を適正に行った。

イ 展覧会会期中の販売品目の選定、陳列など、時宜に応じた運営を行った。

ウ 来館者のニーズに対するマーケティングリサーチを行い、地元企業などとの連携を図りながら新規商品の開発について検討した。

エ より広範囲への商品販売と施設の告知を狙いインターネットでの販売を継続した。またインターネットでの情報発信も積極的に行った。

オ 市立米沢図書館と連携し、博物館の展覧会図録や図書館の郷土資料刊行物等出版物を相互に販売した。

【オリジナル商品に関する開発等の実績】

■新規商品 4商品

歴史関係商品：「直江状写」複製

美術関係商品：後藤克芳作品 ポストカード 7種

後藤克芳作品 クリアファイル 3種

後藤克芳作品 マスキングテープ 1種

■再販商品 12商品

洛中洛外図関連商品：ミニチュア屏風、ジグソーパズル、マグネット

上杉氏関連商品：マグネット、ストラップ、キーホルダー、手拭い

その他の商品：米織小紋商品、刀剣ポストカード、ぐい呑み 他

(2) 市民の伝統文化活動を支援するとともに、歴史・芸術・文化の情報発信に努める

①芸術文化活動のための施設貸与

ア よねざわ市民ギャラリー

市民の多様な芸術文化活動の成果発表の場として、第1～9展示室、体験学習室を貸与した。さまざまな分野の作品に合わせ展示ができる施設の機能を活かし、絵画作品や書道、写真等の平面作品、また彫刻や生け花といった立体作品等の発表にも活用された。米沢織きものや海外民族工芸品の展示販売会をはじめ、自主事業での展示作品販売・ギャラリーショップの設置により、鑑賞だけでなく「購入」も楽しめる展覧会が根付きつつある。

体験学習室では、ギャラリー利用団体による展覧会期間中のワークショップや米沢雪灯籠まつりの竹あかりの制作、夏休み期間中の小中学生を対象とした大学生による学習支援、サークル活動など、幅広く利用があった。

(ア) 展示室

年間利用件数： 70件
利用者数：56,372名

(イ) 体験学習室

年間利用件数： 56件
利用者数： 1,799名

イ 米沢市座の文化伝承館

市民が自主的に伝統的な文化活動を推進しその伝承を図ることを目的に、和室の機能を生かした「座って行う日本文化」の一つの活動拠点として施設を適正に貸与した。また、利用者のニーズを把握し、利用促進や設備の更新を計画的に進めた。

施設の利用の促進が地域文化の底上げにつながることから、施設情報のPRに努めた。

利用件数： 224件
利用者数： 3,593名

②米沢市座の文化伝承館自主事業の実施

ア 展示事業

展 示	概 要
「地域の活力 ～小貫幸太郎氏の写真から」	
■会期 （14日間） 平成30年 6月16日（土） ～ 7月 1日（日） ■入館者数 339名	昭和の時代を様々な資料や視点で紹介しているが、30年度は小貫幸太郎氏の古写真で、昭和のなつかしい風景や変わりゆく街並みを紹介した。メディアの関心も高く入場者増につながり、「蔵」の所在や魅力を発信できた。

イ 伝統文化普及事業

企 画	概 要
「第28回 市民茶会」	
■開催日 平成30年 6月17日（日） 10:30～15:00 ■参加者数 211名	米沢市座の文化伝承館で恒例の市民茶会を開催した。畳に座し、もてなしに差し出される菓子や抹茶をいただく伝統文化「茶道」について、子どもや外国人などの参加者も共に米沢茶道連合会会員による解説を受けながら、楽しんでいた。

ウ 芸術文化活動のための支援・鑑賞事業

企 画	概 要
「口笛コンサート」	
<p>■開催日 平成30年10月21日（日） 第1回 13:00～ 第2回 15:00～</p> <p>■来場者数 合計45名 (1回目23名・2回目22名)</p>	<p>蔵スペースを活用してコンサートを開催した。当地であり例のない口笛奏者のコンサートは、たかぎまりこ氏の楽しいトークと、口笛の魅力を引き出す軽やかなメロディを聴き、プロならではの高い技術に関心を寄せる方が多かった。</p>

(3) 利用者の声を集め反映する仕組みを整え、市民に開かれた運営をめざす

事業ごとの内部・外部評価や来館者アンケートを実施し、その結果を分析・検討し、業務に反映することで事業やサービスの改善を図った。

(4) まちづくりネットワークと連携し、にぎわいと活力あるまちづくりに寄与する

米沢市中心市街地活性化協議会等と連携してにぎわいづくりに貢献した。
ナセBAの「こまや」を活用した地元商店街や各種団体の事業に協力した。

5 財団の適正な運営に関する事業

(1) 公共施設であることを念頭に、経営基盤の安定と利用者及び収入の確保に努める

①施設の管理、運営

指定管理者として管理・運営を行う施設について、財団の定款や諸規定に基づき、関連法令及び諸規程、契約・協定を遵守し適正に管理を行った。

②広報、宣伝

広告予算を使った有料媒体のほか、費用のかからない無料媒体を活用し、当財団事業および施設に関するPR活動を行い、入館者増に努めた。

ア 有料、無料の広告媒体を使つてのPR活動を行った。

イ HP等Web媒体を使つてのPR活動及び収蔵品の紹介を行った。伝国の杜では、外国人観光客の増大に備え、外国語版HPを新規に作成した。米沢市上杉博物館ではTwitterアカウントを用い、リアルタイムで更新される特性をいかして事業告知を行った。

ウ チラシ、ポスター等の媒体を使つてのPR活動を行った。

エ 近隣施設等への直接持参によるPR活動を行った。

オ 米沢市上杉博物館では、中高生の「無料観覧証」や無料入館日、開館延長等に関する案内と周知に努めた。

(2) 施設個々の機能の向上と発揮に努めるとともに、施設相互の適切な連携を進める

①施設間での連携

財団の各事業を紹介するため、施設相互でポスター等を設置した。各施設で十分な市民サービスを提供できるよう、関係機関との連携強化や情報交換に努めた。

また、伝国の杜とナセ BA の行き来を推奨し青少年・こどもの「まなび」を応援する事業として、小中高大生を対象とし、市立米沢図書館の利用者カード提示で米沢市上杉博物館の入館料を団体割引料金とする試みを昨年度に引き続き行った。

利用者数：27名

②置賜地区公共図書館（室）連絡協議会への加盟、運営

市立米沢図書館が事務局となり、置賜地区3市5町の公共図書館（室）が加盟する協議会で年3回の会議を実施した。発行物『おすすめ絵本～おきたまセレクション～』の作成を12月に行い、絵本のリストを教育施設や公共施設などへ配布した。また、「第38回（平成30年度）山形県図書館研究大会」の開催地区が置賜地区に設定され、協議会が事務局となり置賜総合文化センターにて大会を運営した。

(3) 米沢・上杉の歴史と文化を発信し、文化及び観光の交流拠点をめざす

上杉文化エリア懇話会へ参加し、米沢市歴史文化拠点地区内にある諸団体と交流、情報交換を行いながら連携し、歴史、文化、観光の交流拠点となるべき活動を行った。

米沢市上杉博物館では、米沢市を訪れる観光客に幅広く館の情報を PR するため、4月に開館した道の駅米沢に設置された周遊促進ツール「まちナビカード」に参画した。持参者には入館料の団体割引の特典を付与し、多くの利用があった。

利用者数：735名

(4) 入場者と職員の安心・安全を第一に、施設設備の保守及び危機管理に取り組む

地震や火事を想定した避難訓練を伝国の杜とナセ BA でそれぞれ年2回実施した。

また、各施設に設置された AED を職員が正しく使用できるよう救急救命講習へ定期的に参加し、緊急時に適切な救命処置を施せるよう技能を学んだ。

(5) 複数の内部評価・外部評価に取り組み、運営やサービスの改善に努める

各事業について内部評価を実施し事業総括に反映させた。

また、運営協議会委員による外部評価及び来館者アンケートを実施した。

①財団内部評価

財団の目標及び運営方針に則った内部評価シートを作成して自己評価に取り組み、運営と業務の改善を図った。

②運営協議会

米沢市上杉博物館と置賜文化ホール自主事業、市立米沢図書館とよねざわ市民ギャラリーについて、その事業等の質、来館者の利便性、利用率の向上等を達成するために、第三者から幅広い意見をを得る場である運営協議会を年2回ずつ開催した。委員からは管理・事業運営全般にわたり

様々な意見や提言を頂戴した。

ア 伝国の杜運営協議会

(ア) 第1回 開催日時：平成30年 7月18日(水) 10:00～

開催場所：伝国の杜第2小会議室

議事

- i) 平成29年度 公益財団法人米沢上杉文化振興財団運営自己評価について(報告)
- ii) 平成30年度 米沢市上杉博物館・置賜文化ホールの主な事業について(報告)
- iii) 高速道路、道の駅米沢の開設に伴う対応について(意見聴取)
- iv) 博物館の出前授業、ミュージアムスクールに望むこと(意見聴取)
- v) その他

(イ) 第2回 開催日時：平成30年12月18日(火) 10:30～

開催場所：伝国の杜第2小会議室

議事

- i) 第1回伝国の杜運営協議会における御意見・御要望に対する取り組みについて(報告)
- ii) 平成30年度財団運営中間内部評価について(報告)
- iii) 平成31年度米沢市上杉博物館・置賜文化ホールの開催予定事業について(報告、質疑)
- iv) その他

イ ナセBA運営協議会

(ア) 第1回 開催日時：平成30年 7月31日(火) 15:00～

開催場所：ナセBA体験学習室

議事

- i) 平成29年度 公益財団法人米沢上杉文化振興財団運営自己評価について(報告)
- ii) 平成30年度 市立米沢図書館・よねざわ市民ギャラリーの主な事業について
- iii) ナセBA利用者増にむけた取り組みについて(意見聴取)
- iv) その他

(イ) 第2回 開催日時：平成31年 1月29日(火) 15:30～

開催場所：ナセBA体験学習室

議事

- i) 第1回ナセBA運営協議会の意見要望に対する取り組みについて(報告、質疑)
- ii) 平成30年度 公益財団法人米沢上杉文化振興財団運営中間評価について(報告、質疑)
- iii) 平成31年度 市立米沢図書館・よねざわ市民ギャラリーの開催予定事業について
- iv) その他

③スタッフ育成

定期的に勉強会・講習会を実施し、事業運営における職員のスキルアップを図った。また、来館者対応については、防災訓練や展覧会ごとの展示説明会を実施したほか、心肺蘇生法およびAED使用法に関する救急処置実施講習会に参加し資質の向上に努めた。また、分野ごとの業務の遂行に関する指導等を行った。

- ・定期的な勉強会や研修会の実施
- ・新規採用者の研修

財団役員会の開催実績

【理事会】

①通常理事会

開催日時：平成30年 5月25日（金） 13：30～

開催場所：伝国の杜第2小会議室

議事

報告第1号 平成30年3月23日理事会以降の職務執行状況について

第1号議案 平成29年度事業報告及び附属明細書の承認について

第2号議案 平成29年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録の承認について

第3号議案 公益財団法人米沢上杉文化振興財団定款の変更について

第4号議案 定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等について

第5号議案 定時評議員会に提出する評議員の補欠選任に関する事項について

第6号議案 定時評議員会に提出する理事及び監事の選任に関する事項について

②通常理事会

開催日時：平成31年 3月22日（金） 15：00～

開催場所：伝国の杜大会議室

議事

報告第1号 平成30年10月9日臨時理事会以降の職務執行状況について

第1号議案 平成31年度事業計画（案）の承認について

第2号議案 平成31年度収支予算（案）の承認について

第3号議案 公益財団法人米沢上杉文化振興財団団印規程の一部を改正する規程について

第4号議案 公益財団法人米沢上杉文化振興財団就業規程の一部を改正する規程について

第5号議案 公益財団法人米沢上杉文化振興財団臨時職員就業規程の一部を改正する規程について

第6号議案 公益財団法人米沢上杉文化振興財団育児・介護休業規程の一部を改正する規程について

第7号議案 公益財団法人米沢上杉文化振興財団臨時職員育児・介護休業規程の一部を改正する規程について

第8号議案 館長の承認について

③臨時理事会

開催日時：平成30年 6月 9日（土） 定時評議員会終了後

開催場所：伝国の杜大会議室

議事

第1号議案 理事長、副理事長及び常務理事の選定について

その他

④臨時理事会

開催日時：平成30年10月9日（火） 13：30～

開催場所：伝国の杜大会議室

議事

- 報告第1号 平成30年5月25日通常理事会以降の職務執行状況について
- 第1号議案 公益財団法人米沢上杉文化振興財団定款の変更について
- 第2号議案 臨時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項について
- 第3号議案 臨時評議員会に提出する評議員の補欠選任について
- 第4号議案 公益財団法人米沢上杉文化振興財団組織規程の一部を改正する規程について
- 第5号議案 公益財団法人米沢上杉文化振興財団事務決裁規程の一部を改正する規程について
- 第6号議案 公益財団法人米沢上杉文化振興財団印規程の一部を改正する規程について
- 第7号議案 公益財団法人米沢上杉文化振興財団文書管理規程の一部を改正する規程について
- 第8号議案 公益財団法人米沢上杉文化振興財団職員給与規程の一部を改正する規程について
- 第9号議案 公益財団法人米沢上杉文化振興財団情報公開規程の一部を改正する規程について
- 第10号議案 公益財団法人米沢上杉文化振興財団個人情報保護規程の一部を改正する規程について

【評議員会】

①定時評議員会

開催日時：平成30年 6月 9日（土） 15：00～

開催場所：伝国の杜大会議室

議事

- 報告第1号 平成29年度事業報告及び附属明細書について
- 第1号議案 平成29年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録の承認について
- 第2号議案 公益財団法人米沢上杉文化振興財団定款の変更について
- 第3号議案 評議員の補欠選任について
- 第4号議案 理事及び監事の選任について
- その他

②臨時評議員会

開催日時：平成30年10月24日（水） 13：30～

開催場所：伝国の杜大会議室

議事

- 第1号議案 公益財団法人米沢上杉文化振興財団定款の変更について
- 第2号議案 評議員の補欠選任について

【理事・評議員合同会議】

開催日時：平成30年 6月 9日（土） 臨時理事会終了後

開催場所：伝国の杜大会議室